

授業科目	ボランティア論【講義】		開講時期	後期
担当教員	上村 真仁		単位	2
授業の目的と概要	現代社会において「ボランティア」は、様々な領域で実施されており、社会問題の解決のためになくならない活動となっている。本講義では、ボランティアが生まれた社会的な背景を理解するとともに、ボランティア活動の特徴である「主体性」「公共性」「無償性（非営利性）」の理解、今日のボランティア活動の役割、課題の理解とボランティアマネジメントに関する現状の理解、および自分の住む地域や生活圏における身近なボランティア活動への気づきを主たる目的とする。			
到達目標	現代社会におけるボランティアの意義を説明することが出来る。 自分の価値観を明確に持ち、ボランティアに関するディスカッションを行なうことが出来る。 自己実現と社会貢献を両立するボランティア活動を構想することが出来る。 ボランティアの意義や社会的な役割について体験やグループでの議論を通じて自身の考えをまとめ授業で発表することが出来る。 身近なボランティア活動への理解が促進され、実際にボランティア活動へ参加する機会を得ることが出来る。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(1) -④社会の一員としての意識をもってその発展に関わることができる。「市民としての社会的責任・勤労観」 (2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」 ＜授業外学修＞1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は民間シンクタンクや環境NGOでの官公庁の政策立案や地域での実践に関する実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載通りの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	ボランティア論について 授業の進め方、身近なボランティアについて考えよう	ボランティアの経験、イメージをまとめて来てください。		
第2回	ボランティア活動の理解	ボランティアの特徴にはどのようなものがあるか調べてきてください。		
第3回	NPOとは何か？	復習として太宰府市内で活動するNPOについて調べてきてください。		
第4回	行政とNPOの協働	ボランティア活動における行政の役割について考えてきてください。		
第5回	ボランティアの現場を知る その1（まほろば自然学校の活動）	自然環境保全ボランティアについて調べてきてください。		
第6回	市民活動における中間支援について	ボランティアを活発にするために必要な支援について考えてきてください。		
第7回	市民活動に関わるには	復習として自分がやってみたいボランティアを調べてください。		
第8回	ボランティアの現場を知る その2（太宰府まち歩きガイド「歩かんね太宰府」の活動）	自分がやってみたいボランティア活動について調べてきて下さい。		
第9回	ボランティア活動を企画してみよう グループワークによる企画づくり（例：ボランティアガイド）	太宰府・大学を活動場所とするボランティアを考えてきてください。		
第10回	ボランティア活動の準備 現場での調査、調整（例：資源マップづくり＝門前町調査）	第9回で議論した内容を具体的な提案としてまとめてきて下さい。		
第11回	ボランティア活動計画の策定（例：マップづくり）	計画の具体的化		
第12回	ボランティア活動の準備（例：ガイド方法の検討）	全体でのボランティア実施の準備を進めてください。		
第13回	ボランティアの実施 その1	グループで計画したボランティアを実施してください		
第14回	ボランティアの実施 その2	グループで計画したボランティアを実施してください		
第15回	ボランティア体験発表会とディスカッション	体験して、良かった点、悪かった点、自分自身の変化をまとめてください。		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	なし			
小テスト等	30% 授業の中で、テキストからの出題による小テストを実施する。			
成果発表	合計40% グループでのボランティア企画書作成 20%、グループでのボランティア実施成果の発表 20%。			
受講態度他	30% ボランティア計画の策定、準備、実施などへの参加の状況により評価する。			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	本科目では、自分たちでボランティア活動を企画してもらい受講者全員で協力して実現する実践型の授業とします。その体験を踏まえてレポートの作成をしてもらいます。積極的にグループでのディスカッションに参加しグループのメンバーに迷惑をかけないようにして下さい。また、全体でのボランティアの実施についても積極的に参加するようにして下さい。ボランティアの企画・実施を行いますので2年生に加えて、就活準備をしている3年生の受講も歓迎いたします。			
教科書	なし			
指定図書	早瀬昇・水谷綾・永井美佳・岡村こず恵 他 「テキスト市民活動論」 大阪ボランティア協会 早瀬昇、筒井のり子 「ボランティアコーディネーション力」 中央法規			
参考図書	金子郁容「ボランティアもうひとつの情報社会」 岩波新書、 西條剛央 「人を助けるすごい仕組み」 ダイアモンド社			
オフィスアワー	月曜日 2限、3限、4限、水曜日 4限	メールアドレス		

授業科目	メディアと文化【講義】		開講時期	前期
担当教員	小山 昌宏		単位	2
授業の目的と概要	1. メディアと文化に関する基礎知識を、映画、ドラマ、アニメ、音楽、新聞、電話、テレビなど具体例を通して身につける 2. メディアの基礎理論、インターネットの理論を踏まえ、メディアリテラシーを身につけ、メディアセキュリティの考え方を身につける 3. 具体例を検証することにより、メディア、マスメディアの基礎理論を活きた方法として活用することができる 4. 具体的には、毎回の講義時リアクションペーパー（質疑応答：出席表）による復習（振り返り）を活かし、学びを深め（思考力の獲得）、期末レポート作成に活かす			
到達目標	1. メディア一般、個別メディアの機能と社会的影響力について、説明することができる 2. 各メディアの諸問題点を発見し、それについて掘り下げ、考えることができ、その内容について報告することができる 3. メディアとインターネットとの関係について説明ができ、おこりうるメディア環境の変化について説明することができる 4. リアクションペーパー内容の振り返りにより、他者の意見を取り入れ、自分の知識を再形成することができる			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」 (2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」 <授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は出版関係企業で実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。 関連科目：コンテンツビジネス論			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	メディアとは何か？ ～映画：F・ラング「メトロポリス」とチャップリン「モダン・タイムス」を題材に	予習として2作品いずれかを視聴しておく		
第2回	メディアの発展とその機能 ～メディアの進化と身体コミュニケーション	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第3回	地域文化とメディア ～能年玲奈の「あまちゃん」と地域振興	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第4回	電話と声 ～郷ひろみ「よろしく哀愁」からRADWIMPS「携帯電話」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第5回	新聞メディアとその役割 ～娯楽と報道の「間」に揺れるその未来	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第6回	放送メディアと文化 ～その「公共性」と社会的役割について	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第7回	視覚と映像 ～機械の目と人間の目が織りなす映像の基本ルール	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第8回	マスメディアと情報操作 ～「ナチス情報戦」「火星人類来」から「ケネディ暗殺」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第9回	アニメ・パッシングとオーディエンス ～血・性・暴力表現はいかにしてアニメから排除されるか	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第10回	2. 5次元ミュージカルの映像技術の基礎 ～「テニスの王子さま」から「ハイキュー！」まで	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第11回	聖地巡礼とコンテンツ消費 ～「時かけ」「らき☆すた」から「炎の蜃気楼」「水木しげるロード」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第12回	アイドル論の基礎と歴史 ～ジャズニーズ、AKB、モー娘。を中心に	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第13回	コンテンツビジネス論 ～アニメコンテンツとクロスメディア 「ポケモン」と「妖怪ウォッチ」の差とは？	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第14回	メディア・リテラシーとセキュリティ ～テレビCM、ネット広告の罠とリテラシー	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第15回	情報メディアの編集と生成 ～学際的メディア編集とは何か？	期末レポートテーマを確定する。		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	70％（期末レポート） 30％（出席シート：リアクションペーパーの内容）			
小テスト等	なし			
成果発表	なし			
受講態度他	第1回目の授業時に受講の心得についてお話しします			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	1. 教科書はありません レジュメ（配布資料）は各回配布いたします 2. この授業では、毎回、リアクションペーパー内容をまとめ、要点整理の上、次回授業のはじめに振り返り紹介いたします（復習） 3. リアクションペーパーと振り返りによる学習効果を、期末レポート作成に活かします 4. 期末レポート概要については第10回目の授業で、内容、提出日、評価基準について提示します			
教科書	なし			
指定図書	なし			
参考図書	授業内で参考文献一覧を提示します			
オフィスアワー	水曜日の昼休み、またはメールにて相談	メールアドレス		

授業科目	人権教育【講義】		開講時期	後期
担当教員	栗山 俊之		単位	2
授業の目的と概要	<p>人権の大切さを理解し、人権に関わる具体的な問題について、論理的に、様々な教材を用いながら授業することができるようになることを目指します。また、そのためのよりよい授業の組み立て方や、教材収集の方法を身に付けてください。なお、部落差別、水俣病、ハンセン病、在日コリアンなどをテーマとして講義を行います。また、時事により、新たな人権問題を組み入れることがあります。</p> <p>講義を通してボランティアや現地研修を自ら行い、現代社会が抱える諸問題について理解し、その解決方法を模索することができるようになってください。</p>			
到達目標	<p>1. 自らが受けた人権教育を整理し、検証できる。  2. 人権に関する現代的問題に関心をもつ。  3. 人権に関する授業を組み立てることができる。</p>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(1) -①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」  (1) -④社会の一員としての意識をもってその発展に関わることができる。「市民としての社会的責任・勤労観」  (2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」</p> <p>&lt;授業外学修&gt;1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は仏教福祉活動・高校教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回 講義の進め方		高校までに学習した人権に関する事柄を復習しておく		
第2回 人権とは何か		配布する人権に関するプリントを読む		
第3回 人権についての講義（人権を損なうもの）		配布する差別に関するプリントを読む		
第4回 人権にかかわる基本的学習（人権の歴史）		配布する人権の歴史に関するプリントを読む		
第5回 人権にかかわる基本的学習（人権思想）		配布する思想に関するプリントを読む		
第6回 人権にかかわる基本的学習（人権関係法・条約）		配布する人権関係法・条約に関するプリントを読む		
第7回 人権にかかわる諸問題（部落差別）		配布する部落差別に関するプリントを読む		
第8回 人権にかかわる諸問題（外国人差別）		配布する外国人差別に関するプリントを読む		
第9回 人権にかかわる諸問題（ハンセン病）		配布するハンセン病に関するプリントを読む		
第10回 人権にかかわる諸問題（水俣病）		配布する水俣病に関するプリントを読む		
第11回 人権にかかわる諸問題（子どもの人権）		配布する子どもの人権に関するプリントを読む		
第12回 人権にかかわる諸問題（障害者差別）		配布する障害者差別に関するプリントを読む		
第13回 人権にかかわる諸問題（戦争）		配布する戦争に関するプリントを読む		
第14回 人権にかかわる諸問題（DV）		配布するDVに関するプリントを読む		
第15回 まとめ		もう一度、人権教育の意義について考察する		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	50％ レポート試験			
レポート	40％ 講義終了前10分前に小レポートを課します			
小テスト等	0％			
成果発表	0％			
受講態度他	10％ 講義に向き合う姿勢			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>毎回、講義終了10分前に「講義の感想・意見」を書いて提出してください。</p> <p>自らが教える場合はどうするかということを常に意識しながら講義に向き合ってください。</p> <p>教職関連科目です。教員を目指す学生に照準を合わせて講義を進めますので、真摯に取り組んでください。</p>			
教科書	なし			
指定図書	なし			
参考図書	適宜紹介します			
オフィスアワー	火4、金3	メールアドレス		